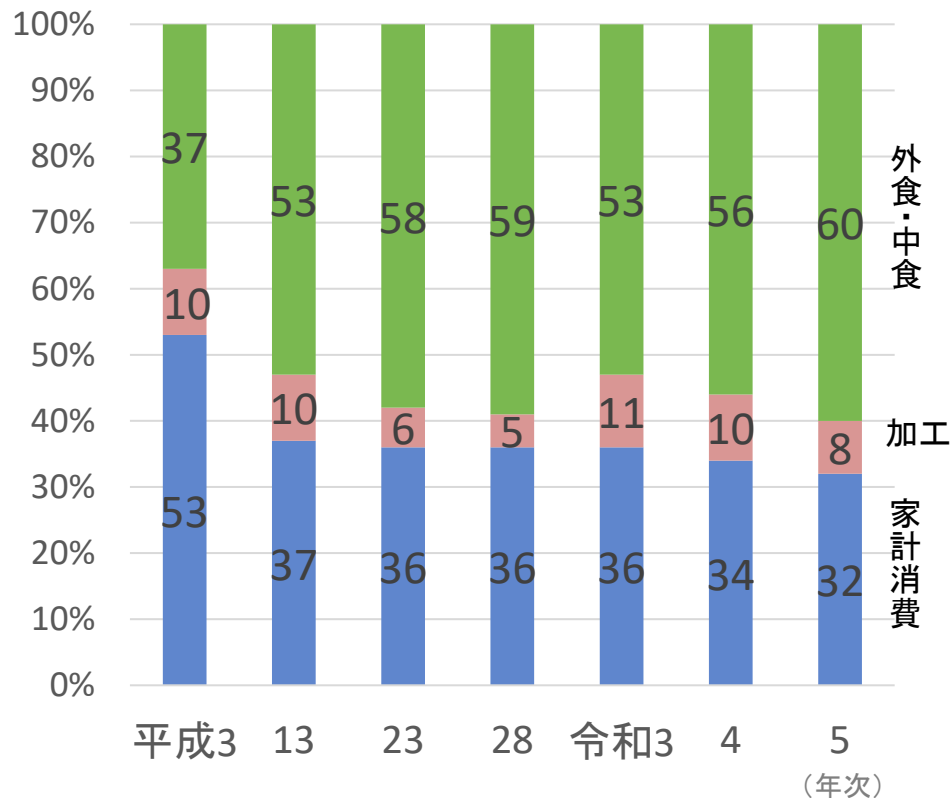


消費動向(消費構成)

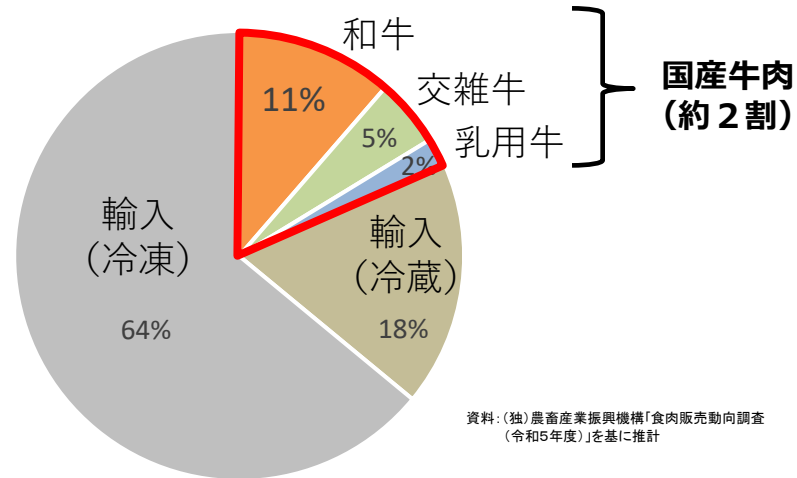
- 我が国における牛肉の消費構成は、近年、**外食・中食が6割弱、家計消費が4割弱**で推移。外食・中食における国産牛肉の使用割合が約2割。
- 量販店における**2024年上半期の販売見通しは増加又は同程度とする見込み**と回答した企業は、**交雑牛で8割弱、乳用牛で9割**となっている一方、輸入牛肉は輸入価格の上昇等の影響で、5割弱が減少の見込み。

牛肉の消費構成割合の推移

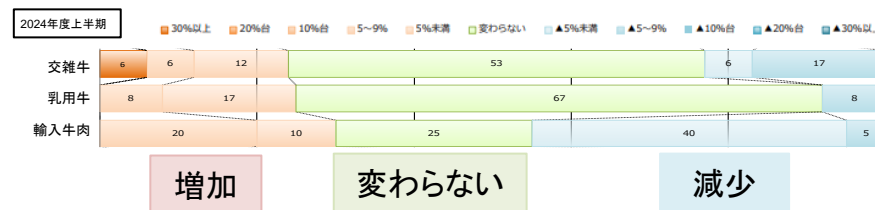


資料:農林水産省「食肉の消費構成割合」

外食・中食における牛肉の構成内訳



食肉の販売見通し(量販店)



資料: (独)農畜産業振興機構「食肉販売動向調査(2023年度、2024年度)」

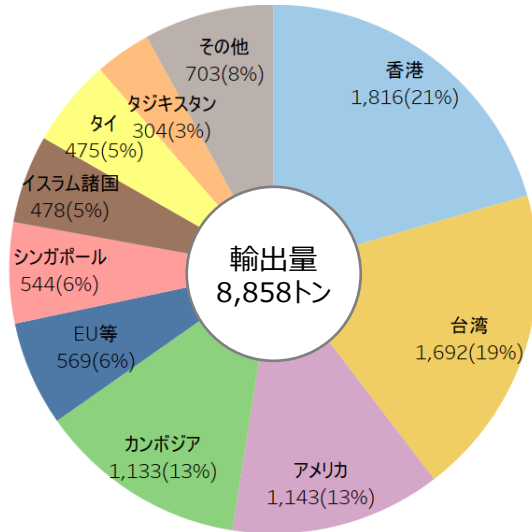
輸出動向

- 2023年の輸出実績は、輸出量は前年比113%の8,858トン、輸出額は前年比111%の578億円と過去最高を記録。
- しかしながら、中国等が解禁されていない中、**現行の目標**である2025年1,600億円、2030年3,600億円とは**大きな乖離が生じている**。

国・地域別 2023年(令和5年)

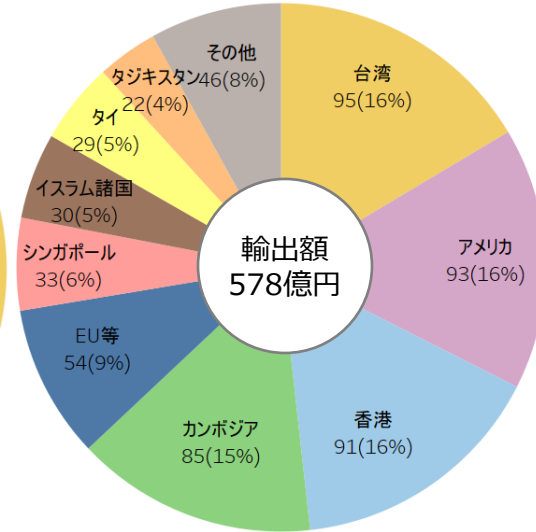
輸出量 (トン)

前年比
113%



輸出額 (億円)

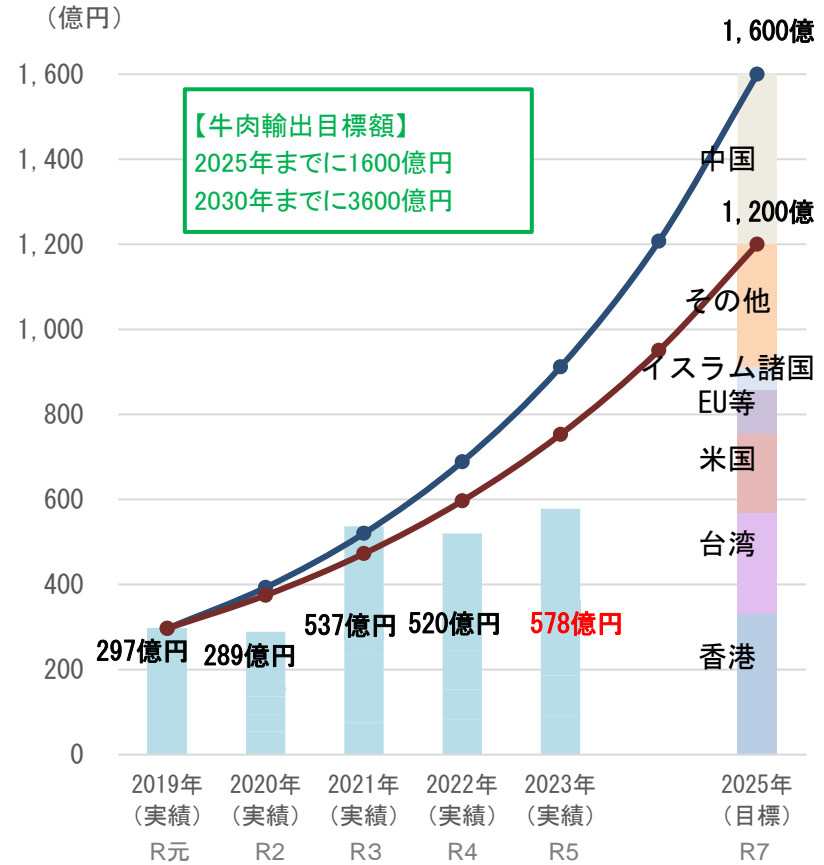
前年比
111%



注：EU等は、EU、英国、スイス、ノルウェー、リヒテンシュタインを含む

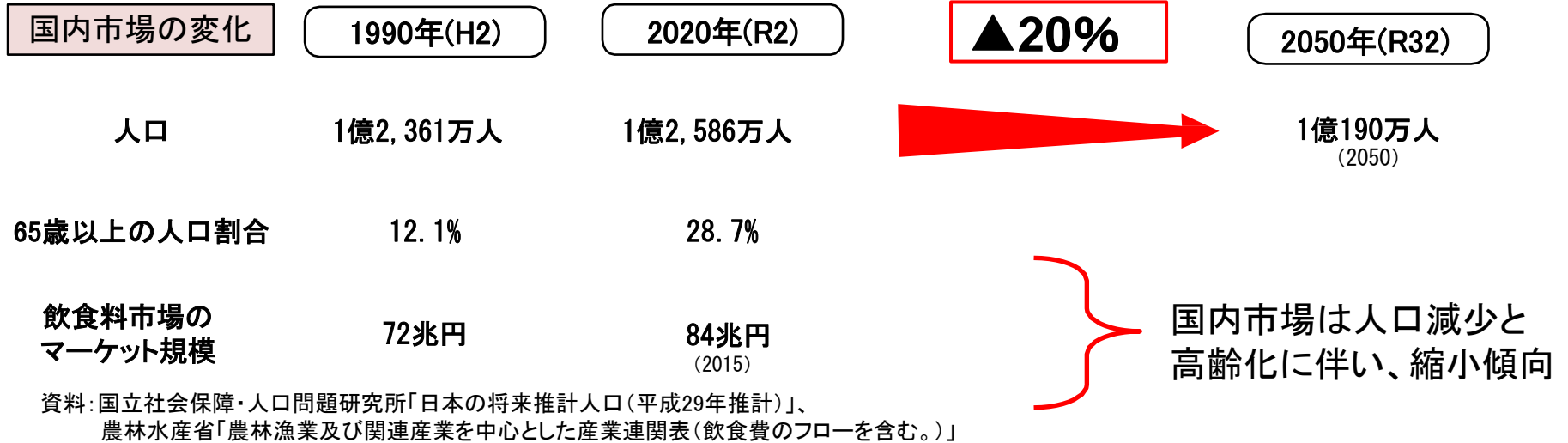
資料：財務省「貿易統計」より作成

2025年牛肉輸出目標と実績の比較



国内及び海外市場の変化

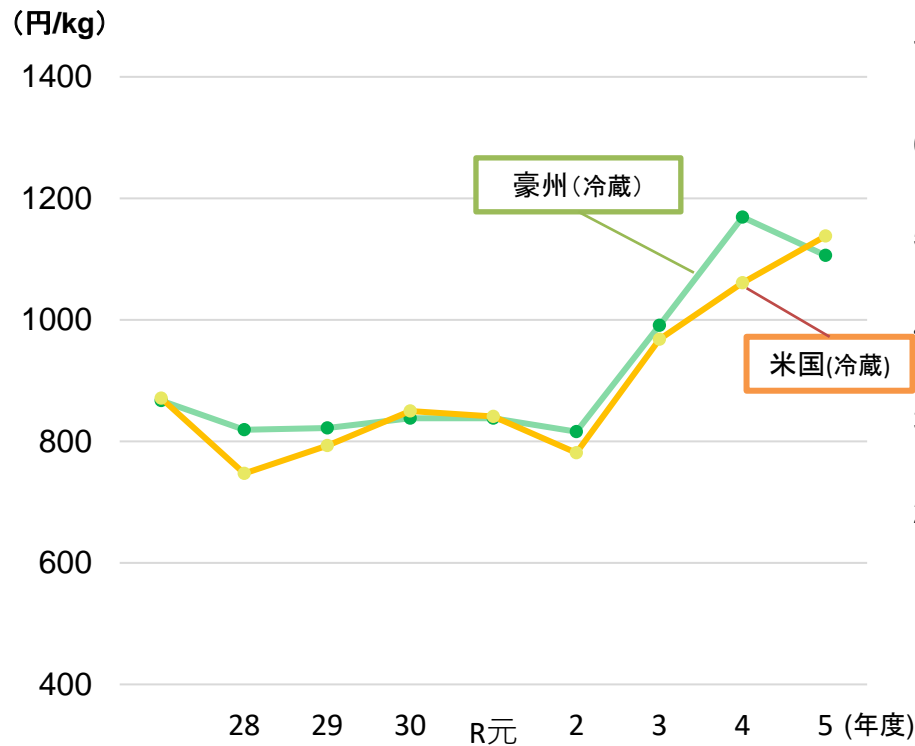
- 2050年までに日本の人口は約20%減少する一方で、世界全体の人口は30%増加。
- **我が国の畜産の維持・発展のためには、海外市場が不可欠。**



日本の輸入動向

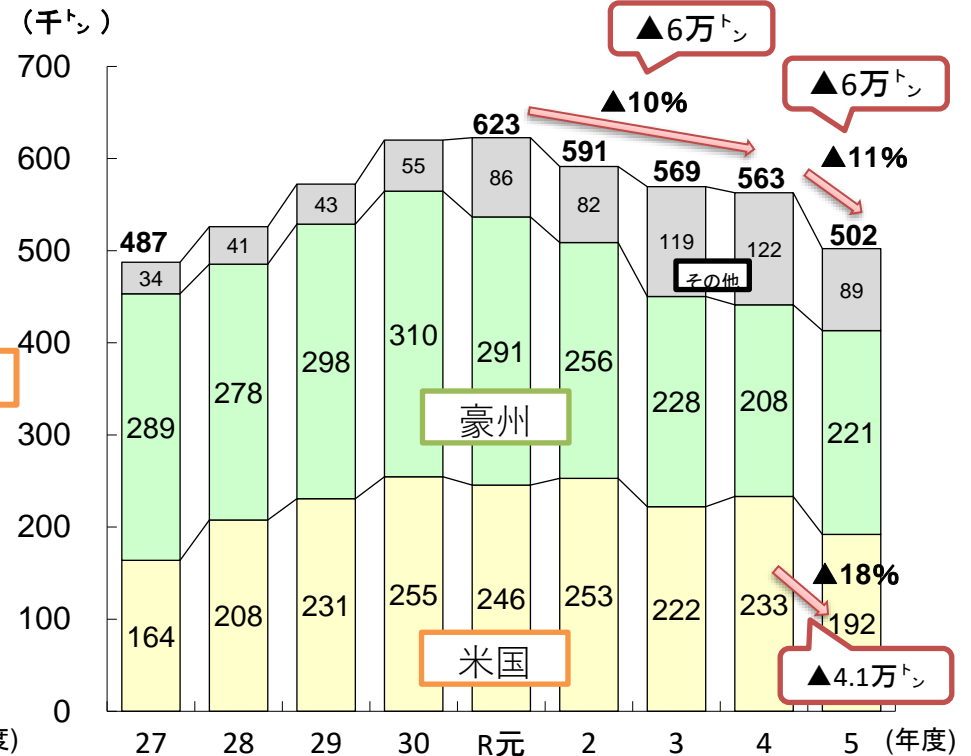
- 輸入牛肉は、**現地価格の上昇や円安により輸入価格が上昇し、需要が減退。**
- **輸入量は減少傾向にあり、令和元年度から4年度までの4年間で10%減少(▲6万トン)。**令和5年度は減少幅が拡大しており、**前年比11%減少(▲6万トン)。**

輸入牛肉価格(円/kg)



資料:財務省「貿易統計」平均CIF価格

牛肉輸入量

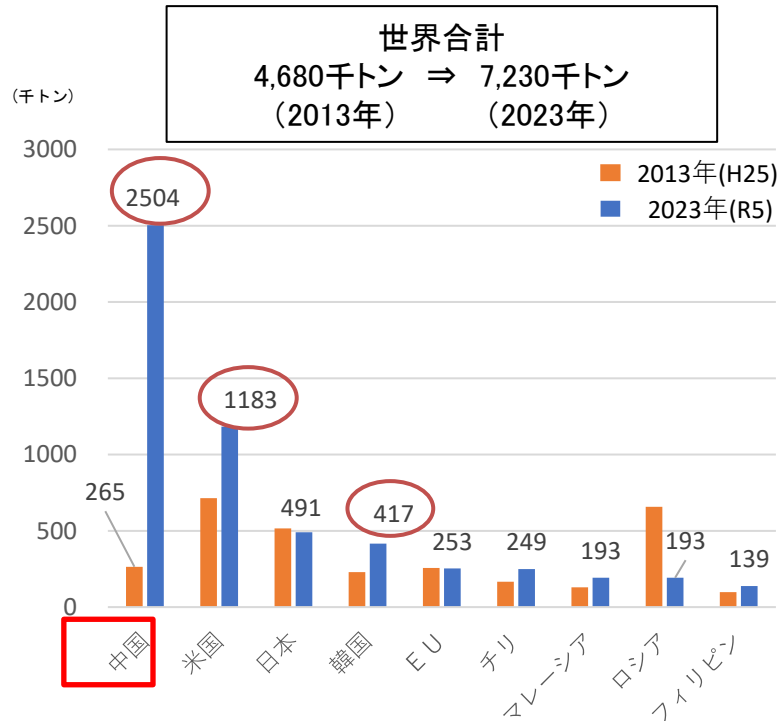


資料:財務省「貿易統計」

世界の輸入動向

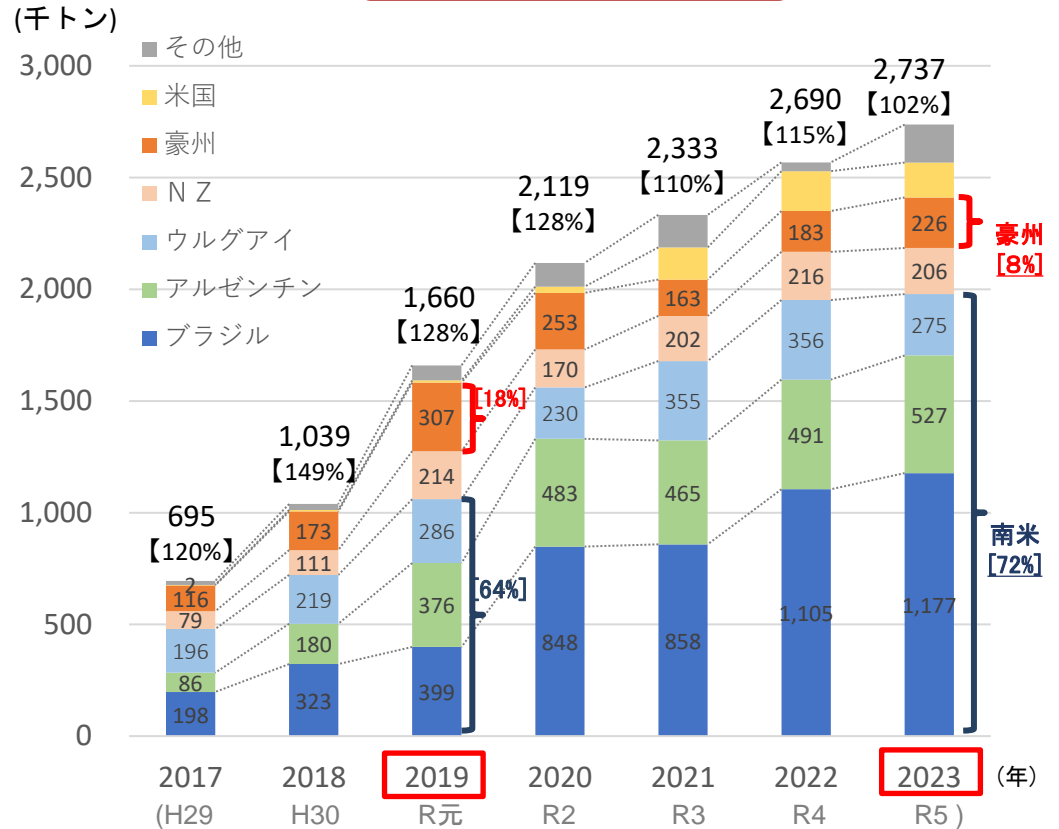
- アジアの牛肉需要の拡大や、米国での牛肉生産量の減少に伴う輸出量全体の減少など、輸入牛肉をめぐる環境は不確実性が増加。
- 中国の牛肉輸入量は10年間で約10倍増加しているが、我が国の主な輸入先国である豪州のシェアは低下しており、ブラジルをはじめとする南米諸国のシェアが大きく拡大。

主要な牛肉輸入国
(2013年 → 2023年)



資料：USDA “Livestock and Poultry: World Markets and Trade”
(部分肉ベースに換算)
※貿易統計の値では、504千トン

中国の牛肉輸入量の推移



資料：Global Trade Atlas(対象HSコードは0201, 0202)